6 年度実施	を施策に(系る政策	評価の事	前分析	斤表						(環境省	R6	- 7)
施策名	目標	3-1	大気環境	の保全(i	酸性雨▪黄砂	妙対策を含む	t;。)						担当部局名	水・大気環境局環境管理課環境汚染対策室モビリティ環境対策課
施策の概要	固定発生源及 域大気汚染の める。	なび自動車等か)影響を含む大	らの排出ガス! 気環境の状況	による大気 ?をより的確	汚染に関し、大きに把握するため	気汚染に係る:)、人の健康の	環境基準等の 保護と生活環	達成状況の改 境の保全の基	善を図り、大気球礎となる評価・監	環境を保全する 塩視体制の整備	。また、酸性雨 。 、科学的知見 <i>の</i>	や黄砂等の広)充実等を進	政策評価実施予定時期	令和 7年 8月 政策評価実施時期
達成すべき目標	大気汚染に係	える環境基準達	成率の向上、『	降水酸性度	₹の減少等を図り	り、大気環境の	保全を図る。						政策体系上の 位置付け	3. 大気・水・土壌環境等の保全
†演説等のうち主なもの) 	〇自動車NC	境基本計画(⁴ Ͻx∙PM総量削	減基本方針 	21日閣議決分報報	决定) 11月22日閣議 	決定) 		年度ごとの目標 年度ごとの実績	· .—				测定:	 指標の選定理由及び目標値(水準・目標年度)の設定の根拠
係する内閣の重要政策 演説等のうち主なもの) 	〇第六次環境 〇自動車NC 基準値	境基本計画(全Dx·PM総量)	減基本方針 目標値	21日閣議法 (令和4年)	央定) 11月22日閣議 	決定) R4年度		年度ごとの目標 年度ごとの実績 R6年度	· .—	 R8年度			測定:	指標の選定理由及び目標値(水準・目標年度)の設定の根拠
お演説等のうち主なもの) 測定指標 全国の一般 環境大気測 定局における	基準値	Dx·PM総量削	減基本方針 目標値	目標年度	11月22日閣議	 R4年度	R5年度	年度ごとの実績 R6年度	值 R7年度		別紙の①のと おり	環境基本法第ものであり、そ	16条に基づく環境基準は、	、「人の健康を保護し、及び生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準」として定められた
+演説等のうち主なもの) 測定指標 全国の一般 環境大気測	基準値 上	Dx • PM総量削 基準年度	目標値	目標年度	11月22日閣議 	 R4年度 別紙の①のと おり	R5年度 別紙の①のと おり	年度ごとの実績 R6年度 別紙の①のと	値 R7年度 別紙の①のと	別紙の①のと	別紙の①のと おり	環境基本法第 ものであり、そ 指標として選定	16条に基づく環境基準は、 の達成率は、人の健康の(
全国の一般 環境大気測 定局における 1 大気汚染に係 る環境基準達	基準値 上	Dx • PM総量削 基準年度	目標値	目標年度	11月22日閣議 R3年度 別紙の①のとう おり	R4年度 別紙の①のと おり 別紙の①のと おり	R5年度 別紙の①のと おり 集計中	年度ごとの実績 R6年度 別紙の①のと おり	値 R7年度 別紙の①のと おり	別紙の①のと おり -	別紙の①のと おり - 別紙の②のと おり	ものであり、そ 指標として選定 環境基本法第	16条に基づく環境基準は、 の達成率は、人の健康の Eした。 16条に基づく環境基準は、	、「人の健康を保護し、及び生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準」として定められた

|別紙の③のと|別紙の③のと|別紙の③のと|別紙の③のと|別紙の③のと|別紙の③のと|別紙の③のと|

おり

5.6

おり

5.6

おり

5.6

おり

5.6

自動車NOx・PM法は、自動車交通量が多く、自動車単体の排出ガス規制などの措置のみによっては大気環境基準の確保が困難な地域を 一指定し、特別の対策を行う法律であり、その対策地域に設置された自動車排出ガス測定局における環境基準達成率は、当該地域における対 策の効果を把握するのに適した数値であるため、測定指標として選定した。

全国の酸性雨調査モニタリングデータのうち、国民にとって身近な値を公表することにより、国民の不安解消と現状認識の向上を図り、かつ効果を把握することにも適した数値であるため、測定指標として選定した。

おり

5.6

5.04

100

5.6

おり

5.6

5.07

別紙の③のと 別紙の③のと おり おり

おり

集計中

5.6

集計中

大都市地域に おける自動車

排出ガス測定 局における大

気汚染に係る 環境基準達

成率(%)

我が国の降

加重平均值

水中pHの

(pH)

5 5 6 1 5 6	アスベスト大 気濃度調査に おける/L以下 の箇所数の 割合(解体るも エ事に係るも の)	<u> </u>	——————————————————————————————————————	100		100 96.4	100 93.3	100 	100 —	100 	_ 	環境省のアス/ 一る。そのため、 標として選定し	解体等工事におけ	査結果から、一 ける漏えい監視(般大気環境中の総繊維 の観点から、石綿繊維:	É数濃度は概ね 対濃度1本/Lを	11本/L以下では を目安とし、石綿	5り、石綿繊維数濃度 濃度1本/L以下の箇	度も1本/L以下であ ī所数の割合測定指	
6 信	解体等工事に 系る事前調査 結果の報告 牛数			_		_	_	_	_	_	_	大気汚染防止ととされており、	法において、解体 、当該報告件数は	等工事に当たり 、その進捗を把)、適切なアスベスト飛 !握するのに的確である	女防止対策を講 ため、測定指標	じるため、事前! 票として選定した	こ特定建設材料の有 。	「無等を調査するこ	
	「グロックス」				——————————————————————————————————————	618,246	集計中 2	2	2	2	2									
7 F	の設定または 再評価を行った有害大気汚染物質数	_	——————————————————————————————————————	2	 0	0	0	<u> </u>	_	<u>—</u>		有害大気汚染: することとされ [*] 捗を把握する0	物質のうち、優先』 ている。環境目標 かに適した測定指	取組物質23物質 値は、有害大気 標として、環境 E	質について、人の健康を 汚染物質による健康リ 目標値が設定または再	保護する上で糸 スクの低減等を 評価がなされた	推持されることが で図る上で重要な 優先取組物質数	望ましい大気環境濃な値であるため、その 対を選定した。	慢度の目標値を設定 設定や再評価の進	
测字华超	測定指標 目標 国標年度 8 表が国における水銀大気排削減する 前年度に比べて排出量を出して設定した。 - 前年度の水銀の大気排出量と今年度の水銀の大気排出量を比較することで、水銀の大気排出量削減量を示すことができるため、測定指標として設定した。																			
8 4	践が国におけ 3水銀大気排					艮の大気排出量	と今年度の水釗	 	』 』 を比較すること [・]	で、水銀の大気										達成
8 名 上 9 章 二	践が国におけ 3水銀大気排	前年度に比が削減する			- 前年度の水釒 全国の酸性®		飛散状況のモニ	ニタリングデータ	タを公表すること		瓦排出量削減 量	量を示すことがで	きるため、測定指	標として設定し		し、酸性雨及び	「黄砂の対策を国	国際的に議論するため	めの基礎データとす	達成
8 名 上 9 章 二	数が 国に (な) 国に (な) 国に (な) (な) (な) (な) (な) (な) (な) (な) (な) (な)	前年度に比が削減する	で排出量を		- 前年度の水釒 全国の酸性®	可調査及び黄砂	飛散状況のモニ i環境の改善に 一 行政事業	ニタリングデータ	タを公表すること		瓦排出量削減 量	量を示すことがで が調査研究への活	きるため、測定指 手用を図るほか、 達	標として設定し	た。	し、酸性雨及び で で で で で で で で で で で で で		国際的に議論するたら 達成手段 開始年度)	めの基礎データとす	達成では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ

	(2)	有害大気汚 染物質等対 策推進費 (平成23年度 組替)	1,7	005934		(6)	大気環境監 視システム整 備経費 (昭和47年 度)	1	-	(10)	環境管理技 術調査検討 費 (昭和50年度) 【関連R5-9、 関連R5-10】	1	004786		(14)	_	_	_	(18)	_	_	_
	(3)	石綿飛散防 止総合対策 費 (平成23年度 組替)	5,6	004690		(7)	大気環境に関 する国際協力 推進費	9	007476	(11)	水銀大気排出	8	004782		(15)	_	_	_	(19)	_		_
((4)	在日米軍施設·区域周辺環境保全対策費(昭和53年度)	1	004784		(8)	モビリティ大 気汚染対策 推進費(昭和 38年度)	1,2,3	005850	(12)	放射能調査研	10	-		(16)	_	_	_	(20)	_	_	_
		目標達成度 合いの 測定結果		政機関共通区(判断根拠)	5分)																	
	評価結果	目標達成が出来なかった要因、その他施策の課題等																				
		次期目標等 への 反映の方向 性		【施策】																		
2	学識経!! の知見(L 験を有する者 D活用										SDGs目標		【主な目標 【主な目標 【副次的対		される目標】						
		画を行う過程 で使用した資 也の情報																				

別紙

①全国の一般環境大気測定局における大気汚染に係る環境基準達成率[%]

ア. 二酸化いおう(SO2) エ. 二酸化窒素(NO2) キ. トリクロロエチレン コ. 微小粒子状物質(PM2.5)

イ. 一酸化炭素(CO) オ. 光化学オキシダント(Ox) ク. テトラクロロエチレン

ウ. 浮遊粒子状物質(SPM) カ. ベンゼン ケ. ジクロロメタン

②全国の自動車排出ガス測定局における大気汚染に係る環境基準達成率[%]

イ. 浮遊粒子状物質(SPM) エ. 二酸化いおう(SO2) カ. 微小粒子状物質(PM2.5)

③大都市地域における自動車排出ガス測定局における大気汚染に係る環境基準達成率[%]

ア. 二酸化窒素(NO2) イ. 浮遊粒子状物質(SPM)

	年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	目標年	目標値
1	ア	99.6	99.9	100	99.8	99.9	99.8	99.7	99.8	99.5	-	100
	イ	100	100	100	100	100	100	100	100	100	-	100
	ウ	99.7	99.6	100	99.8	99.8	100	99.9	100	100	-	100
	エ	100	100	100	100	100	100	100	100	100	-	100
	オ	0	0	0.1	0	0.1	0.2	0.2	0.2	0.1	-	100
	カ	100	100	99.8	100	100	100	100	100	100	-	100
	丰	100	100	100	100	100	100	100	100	100	-	100
	ク	100	100	100	100	100	100	100	100	100	-	100
	ケ	100	100	100	100	100	100	100	100	100	-	100
	コ	37.8	74.5	88.7	89.9	93.5	98.7	98.3	100	99.9	-	100
2	ア	99.5	99.8	99.7	99.7	99.7	100	100	100	100	-	100
	イ	100	99.7	100	100	100	100	100	100	100	-	100
	ウ	3.6	0	0	0	0	0	0	0	0	-	100
	エ	100	100	100	100	100	100	100	100	100	-	100
	オ	100	100	100	100	100	100	100	100	100	-	100
	カ	25.8	58.4	88.3	86.2	93.1	98.3	98.3	100	100	-	100
3	ア	99.1	99.5	99.5	99.5	99.5	100	100	100	100	-	100
	イ	100	99.5	100	100	100	100	100	100	100	-	100